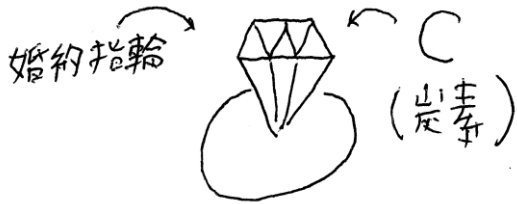


(5) SVOCM と品詞の関係

構造分析をしてみるうちに、何となく SVOCM と品詞との結びつきに法則がある気がしてきませんか？ここで一度整理してみませう。

まず、大事なことです、SVOCM と品詞は、同じものに対する別な見方といふことです。同じものに対する別な見方とは、どういふことか、ダイヤの指輪を例に説明します。下の図を見て下さい。



ダイヤの指輪は、日常における常識といふ視点からすれば、婚約指輪と解釈できるかも知れません。一方化学の視点からは、炭素（元素記号で C）といふことになります。どちらの見方も正しいですし、相互の見方は独立して存在します。

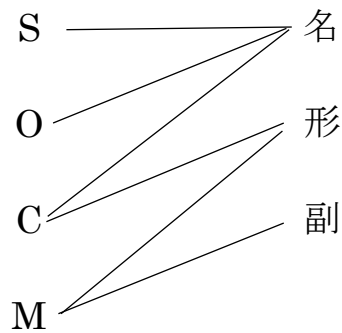
SVOCM と品詞も同じです。学生さんの中には、SVOCM と品詞の区別がついていない方が多くありますが、今までの演習で分かった通り、本来この SVOCM と品詞は別々に考へることが出来るものなのです。

一方、SVOCM と品詞の間に全く関連性が無いかといふと、さういふ訳ではありません。ダイヤの指輪を例にとれば、指輪は炭素で出来てゐるからこそ、婚約指輪になり得ます。その意味で、炭素といふ見方と、婚約指輪といふ見方の間には、関連性があります。SVOCM と品詞も同じです。SVOCM と品詞の間には、対応関係があります。ここでクイズです。下の図で SOCM と名詞、形容詞、副詞の間を線で結んでみませう（実践演習 B も参考にしつつ、「S になれる品詞は何か」、「O になれる品詞は何か」といふやうに）。

S	名
O	形
C	副
M	

答へは下の通りです。

答へ



この図は、今後トレーニングで何度も登場することになるので、絶対に覚えて下さい。

主語と目的語になれる品詞は名詞だけです（※1）。

補語については名詞が来る場合（例：I am Tom. の Tom）と、形容詞が来る場合（例：She is beautiful. の beautiful）があります。

修飾語になれる品詞は形容詞と副詞です（※3）。

このやうに、SVOCM と品詞は同じものに対する別な見方ですが、お互ひに対応してゐるのです。

※1 上級レベルになると必ずしも名詞だけが主語になるとは限りませんが、入試レベルを超えるため、ここでは名詞とします。

※2 this morning や last week のやうに、名詞（句）が副詞として働く場合もありますが、例外的です。

それでは、上の図を踏まへた上で、実践演習を続けませう。

英語はスポーツに似てゐて、反復練習が大切です。スポーツの練習と同じく、何度も繰り返して、滑らかに構造分析が出来るやうにしませう。

→実践演習 Part C～Eへ